

# 第4学年「音楽科」シラバス

4年生ではこんな学習をします

## 年間の学習計画

### 学習の目標

進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。

旋律に重点をおいた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。

音楽の美しさを感じ取って聴き様々な音楽に親しむようにします。

### 学習の方法

学習した曲を、学校や家庭いろいろな場で、友だちと合わせて歌ったり器楽合奏したりして目的に応じた様々な表現活動を行います。  
総合的な学習と関連をもたせ、広がりのある活動を行います。

### 学習の評価

音楽科では、次の観点で評価します。

「音楽に関心をもち、進んで取り組もうとする。」

授業への参加態度、発表等「フレーズ、強弱、速度の変化を感じ取り、表現や鑑賞の工夫ができる。」

演奏の聴取、演奏場面の観察等

「自然で無理のない声で歌い、音色に気をつけて楽器を演奏できる。」

演奏の聴取、演奏場面の観察等

「主な旋律や楽曲の特徴に気をつけ曲想の変化を感じ取って聴くことができる。」

学習プリント等

### 学習する単元

### 学習の内容

前期 3.2 時間	1 歌と楽器のひびきを合わせよう リズムにのってみんなで合わせましょう 歌と楽器の響き合いを感じながら演奏しましょう	旋律の階名視唱や視奏に親しみ声や歌が重なり合う響きを感じ取って演奏できるようにします。旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら日本の伝統音楽に親しむようにします。
	2 日本の音楽に親しもう 郷土の音楽を聴きましょう 日本のふしを歌いましょう	音の特徴や音色の違いを感じ取って、創造豊かに聴いたり表現したりできるようにします。
	3 いろいろな音の違いを感じ取ろう いろいろな音を集めましょう 音の組み合わせを工夫して演奏しましょう 木管楽器の音を聴きくらべましょう。	イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにします。  旋律の特徴を感じ取って、想像豊かにきいたり表現したりできるようにします。
	4 ふしの特徴を感じ取ろう ふしの感じの違いを聴きくらべましょう ふしの感じを生かして演奏しましょう	旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにします。
後期 2.8 時間	5 曲の気分を感じ取ろう 曲の気分を生かして歌いましょう 様子を思いうかべながらききましょう 曲の気分を生かして演奏しましょう	曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにします。  歌詞の表す様子を思いうかべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにします。
	6 音をききあって合わせよう ふしの重なり合いを楽しみながら、歌ったりきいたりしましょう きれいなひびきで合唱しましょう 音の重なりを感じながら合奏しましょう	声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにします。  互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにします。
	7 生き生きと歌おう リズムにのって歌いましょう	発声や呼吸の仕方に関心をもち、歌い方を工夫したり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるようにします。